

# 目次

## 概要

[「頭文字...待機」および bounceconfig の「最大...待機」値間の関係とは何か。](#)

## 関連情報

## 概要

この資料は Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) のバウンス設定で「頭文字...待機」および「最大...待機」設定値の違いを記述したものです。

## 「頭文字...待機」および bounceconfig の「最大...待機」値間の関係とは何か。

bounceconfig のための設定 オプションでは、「秒の初期値はメッセージ」を再試行する前に待つ待つ時期後敏感なメール サーバのためのメールを渡す最初の不成功な試みでした。

注デフォルトで、ESA は 60 秒にこの値を設定します。

注 不成功な試みは 4xx SMTP 応答コードです。 [Simple Mail Transfer Protocol \(SMTP\) によって高められるステータスコードレジストリ](#)を参照して下さい。

メッセージ」を再試行する前に待つ 1800 秒より大きい [RFC 2821](#) に従って「秒の最大数が、セクション 4.5.4 リトライ戦略-適しています。

注デフォルトで、ESA は 3600 秒か 1 時間にこの値を設定します。

それが「最大」値なぜのためにようにであるか、および同じ [RFC 2821](#) でまた、セクション 4.5.4 リトライ戦略述べられるちょうどリトライ間隔、1 つの試みが失敗した後「送信側は特定のデステイネーションを再試行することを遅れる必要があります。一般に、リトライ間隔は少なくとも 30 分であるはずですが;ただし、より複雑にされた可変戦略は SMTP クライアントが」。未配達のための原因を判別できる場合有利です

従って、ドメインへの新しいメールが正常なら、以前に並べられ、リトライ間隔をもらったすべてのメールは配信のためにすぐに再試行されます。

値は両方とも到達不能ホストの「頭文字。wait」および「最大...待機」値と同じような混同するかなうが、べきではありませんでしたりメール サーバ エラーに対してネットワーク転送や問題サービス アベイラビリティのと関連付けられる間隔です。

## 関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)